

主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ 13

福音書において (13)

贖い、命を分け与える方、復活した方、牧者の長

聖書：ヨハネ 19:34, 1:29, 20:17, 22, 21:15-21

I. ヨハネ第19章34節においてわたしたちは、キリストが贖い、命を分け与える方であることを見ます：

A. キリストを贖い、命を分け与える方として経験し、享受することは、主の死の二つの面に基づいています。それは血によって表徴される贖いの面と、水によって表徴される命を分け与える面です—— 34 節：

1. 血は贖いのためであり、罪を対処して召会を買い取ります—— 1:29, ヘブル 9:22, 使徒 20:28。
2. 水は命を分け与えるためであり、死を対処して召会を生み出します——ヨハネ 12:24, 3:14-15, エペソ 5:29-30。

B. 罪人としてわたしたちは、律法の義なる要求にしたがって、神の罪定めから法理的に贖われ、また罪によってもたらされた死から彼の命によって有機的に救われる必要があります——ガラテヤ 3:13, II テモテ 1:10, ローマ 5:10。

C. 神の定められた御旨とは、贖いに続いて命を分け与えることです。なぜなら、神の意図はご自身を命としてわたしたちの中へと分与することであるからです。ですから、贖いは神聖な命を解き放つための道を用意します。それはこの命がわたしたちの中へと分与されて、召会を生み出すためです——ヨハネ 1:29, 3:15-16, ローマ 3:24-25, 8:2, 6, 10-11。

II. ヨハネ第20章において、キリストは復活した方、すなわち彼の信者たちを父なる神の中へともたらし、聖霊を彼らの中へと吹き込んだ方として啓示されています——17, 22 節：

A. 復活した方であるキリストは、彼の信者たちを父なる神の中へともたらし、彼の父を彼らの父とし、彼の神の彼らの神とし、彼らを彼の兄弟たちとします—— 14:20, 20:17：

1. 復活において彼の弟子たちは彼と同じになりました。それは彼らが神の子たちであるという範囲においてでした—— 17 節。
2. 多くの兄弟たちは御父の命の増殖であり、神聖な命における御子の増し加わりです。このゆえに、キリストの復活において神の永遠の定められた御旨は成就されます—— 12:24, エペソ 3:9-11。
3. キリストは、彼の父また彼の神を弟子たちの父また神とすることによって、キリストは彼らを父また神の御前で彼の地位、すなわち御子の地位へともたらしめました。こうして、内側の命と性質において、また外側の地位において、

彼らは主と同じであり、彼と共に彼らは一とされました——ヨハネ 14:20。

B. 復活した方であるキリストは、聖霊を霊なるキリストとして、すなわち命を与える霊であるキリストとして、彼の信者たちの中へと息吹き込みました—— 20:22. I コリント 15:45 後半：

1. ヨハネ第 20 章 22 節の聖霊は、実は復活したキリストご自身です。なぜなら、その霊は彼の息であり、聖霊は御子の息であるからです。
2. 復活したキリストは、ご自身を弟子たちの中へと息吹き込むことによって、ご自身を彼らの中へと命またすべてとして分け与えました—— 22 節. 11:25。
3. その時以来、彼はご自身の弟子たちと真に一でした。なぜなら、彼は彼らの内在的な存在となり、また彼らの中へと入り、彼らの霊的命と存在の神聖な本質となったからです—— I コリント 6:17. ヨハネ 15:4-5。
4. 主は人に命を与える霊であり、この霊はわたしたちの息です—— II コリント 3:6, 17. ヨハネ 20:22：
 - a. 神であった言は、肉体と成って神の小羊となり、復活の中で彼は、わたしたちが吸い込むための聖なる息となりました—— 1:29. 20:22。
 - b. 息であるその霊は、クリスチャン生活をする中でわたしたちにとってすべてです。その息だけがクリスチャンであることができ、その息だけが勝利者であることができます——啓 2:7。

III. ヨハネ第 21 章 15 節から 22 節でキリストは、牧者の長として明らかに示されています：

- A. 復活の中で、キリストは牧者の長として信者たちと共に働き、歩いて、彼の群れを牧養することによって召会を建造しました—— I ペテロ 5:4。
- B. 主は復活の中の大牧者として、彼の弟子たちに自分の命という代価を払って彼の小羊と羊を養い、牧養するようにと命じました。また、羊のためにご自分の魂の命を捨てるという主の模範に従うことによって、神の栄光を現すようにと命じました——ヘブル 13:20. ヨハネ 21:19-22. 10:11, 15. I ヨハネ 3:16：
 1. わたしたちが牧養することは、キリストがわたしたちを通して牧養することであるべきです。キリストがわたしたちを通して牧養するとき、わたしたちの労苦は復活の中にあります——ヨハネ 11:25。
 2. 小羊を養うことは内なる命の豊富をもって養うことによってであり、羊を牧養することは召会を建造するためです—— 21:15-17。
 3. 牧養することは「群れ」のためであり、その群れは召会です。ですから、それは神の建造と関係があります—— 10:14, 16. 使徒 20:28. マタイ 16:18。
- C. 主はご自分に対するペテロの愛を回復し、また彼に小羊を養うことと羊を牧養することを命じた後に、ペテロの殉教を予言することによって、弟子たちに死に至るまでご自分に従うようにと教えました——ヨハネ 21:18-22：
 1. わたしたちはみな、羊のためにご自分の命を捨ててくださった良き牧者である主に従わなければなりません。わたしたちが死に至るまでも彼に従うことは、神の栄光を現すことです—— 10:11, 15. 21:19。

2. わたしたちは主によって再生され、使命を受けた後、どんな代価を払ってでも彼を愛し、どんな犠牲を払ってでも彼に最後まで従わなければなりません—— 15-19 節。
3. わたしたちは羊のためにご自分の命を捨てるという主の模範に従うことによって、彼の小羊を養い、また彼の羊を牧養し養うという主の目的を完成します—— 10:15, 18. 21:15-17. I ヨハネ 3:16。

© 2010 Living Stream Ministry